

再生大粒径混合物

通常のアスファルト舗装より
耐荷力に優れております



★ 概要 ★

大粒径アスファルト舗装は、最大粒径の大きな骨材(25mm 以上)をアスファルト混合物に用いて行う舗装で、耐流動性、耐摩耗性等の性能を有します。

大きな骨材のかみ合わせ効果により荷重を支え、変形抵抗性に優れます。

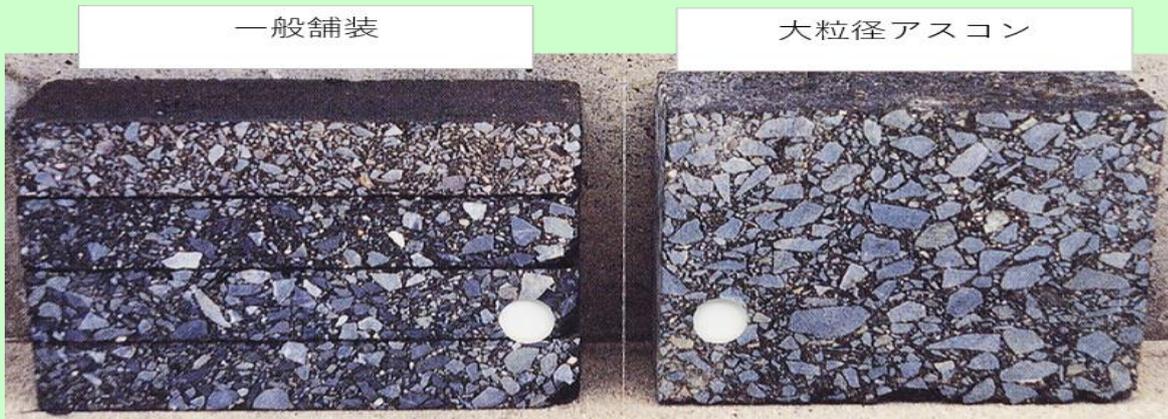
一般に重交通道路の表層、基層、中間層、および上層路盤に用いられる。また、一層あたりの敷均し厚さを従来より厚くできるため、急速施工時(打ち換え時)のシックリフト工法として適用されることも多くあります。

★ 特徴 ★

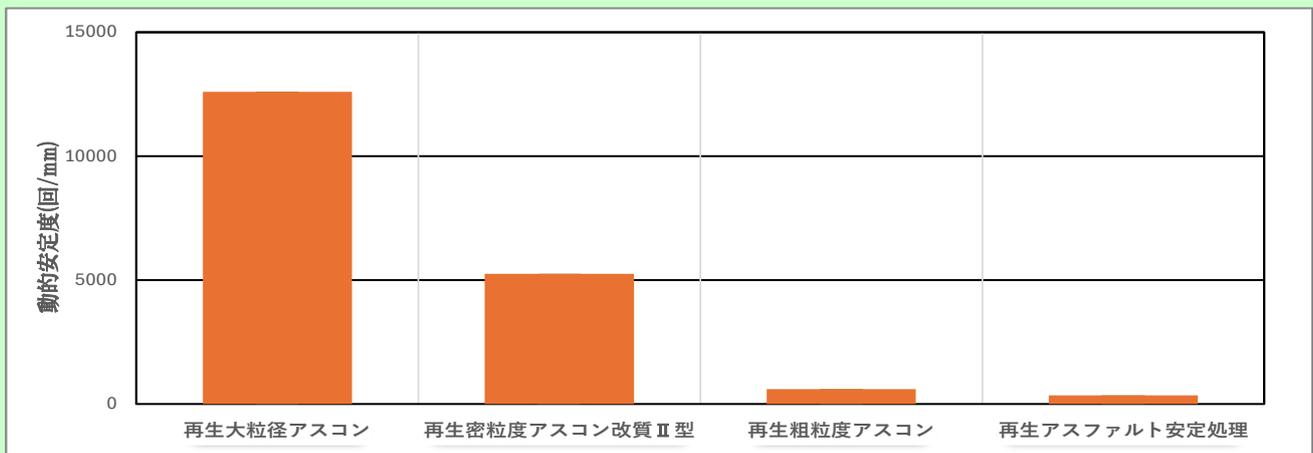


- 1 骨材のかみ合わせが良く、耐流動性・耐摩耗性に優れます
- 2 再生骨材を使用することでキメを改良し表層にも適用できます
- 3 厚層施工(シックリフト工法)により施工時間の短縮が図れます
- 4 フォームド技術(出荷温度の低下)を合わせることで環境にも配慮します
- 5 良質な骨材の噛み合わせにより、DS値が向上します

★ 大粒径アスコンの構造 ★



★ 耐流動性の効果 ★ 改質As & 大きな骨材のかみ合わせにより動的安定度が向上



★ 用途 ★

交差点内および交差点付近、重交通路、作業ヤード、駐車場の表層、基層または上層路盤、早期交通開放が求められる交通規制工事

★ 温度低減効果による即時交通開放 ★

フォームドAs 使用により交通開放に要する時間(敷均し→70℃)を短縮することができます

※解放温度 70℃は、Q R P 工法設計・施工技術指針(案)による



 米子舗材株式会社

鳥取県米子市古豊千 372

TEL 0859-27-1431 FAX 0859-27-1495